

う す い し ゅ っ す い し ん す い

雨水出水浸水想定区域を指定しました



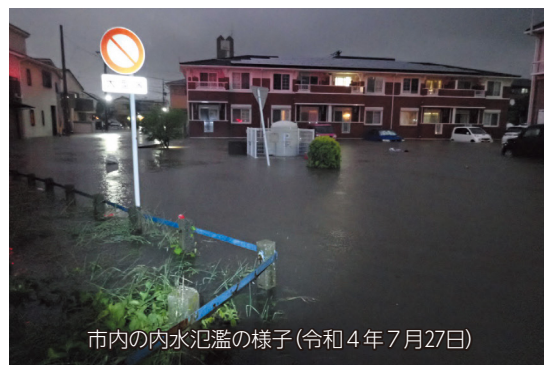
雨水出水浸水想定区域

とは…

想定最大規模降雨※で発生する内水氾濫により、
浸水が想定される区域です。

※ 1 時間雨量 147mm (1000 年に 1 回程度の確率で発生する規模の降雨)。

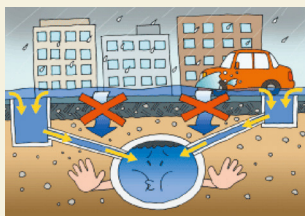
内水氾濫時の円滑かつ迅速な避難を確保し、被害の軽減を図るため、水防法の規定に基づき指定した雨水出水浸水想定区域を市HPに公表します。



市内の内水氾濫の様子(令和4年7月27日)

内水氾濫発生メカニズム

水害ハザードマップ作成の手引き 参考資料3(国土交通省)を加工して作成



水路の排水能力を超える雨が降ると、水路から水が溢れたり、水路に入りきらず地上に溜まったままになったりします。



街等に降った雨は、水路等を通して川に排水されます。



大雨で川の水位が上がると、排水されにくくなり、水路等が溢れてしまいます。

雨水出水浸水想定区域図で分かること

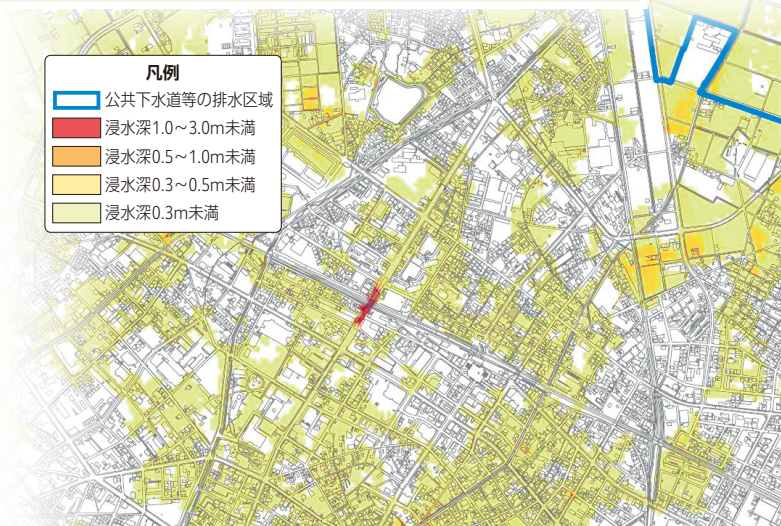
雨水出水浸水想定区域図では、想定される浸水の範囲や深さ、浸水が継続する時間を知ることができます(令和7年度以降に水害ハザードマップへ反映予定)。

雨水出水浸水想定区域図を見て、自宅や学校、職場周辺で発生する浸水をイメージし、いつでも避難できるように備えてください。QRコードを読み取り、自宅周辺の浸水深を確認しましょう！



雨水出水浸水想定区域図▶

凡例	
	公共下水道等の排水区域
	浸水深1.0～3.0m未満
	浸水深0.5～1.0m未満
	浸水深0.3～0.5m未満
	浸水深0.3m未満



雨水タンクを設置しよう ～個人でできる内水氾濫対策～

市では、降雨時に河川や水路等への雨水の流入軽減を目的に「雨水貯留浸透施設(雨水タンク等)」の設置に対し、工事費の2分の1(上限有)を補助しています。

貯めた雨水は庭木の散水に使うことで水道代を節約できる他、災害時の雑用水として使用できます。補助金の申請は、必ず設置前にしてください。詳細は土木課に問い合わせるか、右記QRコードを参照してください。

